

がん細胞を選択破壊

29.2. 2日班 (13)

BNCT 木ウ素中性子 捕捉療法

木ウ素中性子 捕捉療法

広がる連携

がん細胞を選択的に破壊できるがん治療法「ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）」の実用化が迫っている。研究を先導してきたのが京都大学であり、関西地域は同大学を中心に研究者や関連企業によるネットワーク化も進む。将来的な治療技術の向上や適用部位の拡大も期待されており、「連携の輪」がBNCT発展の礎となる。

3
回連載

西BNCT医療センター「（仮称）」の建設が進んでいる。設け、治療室に住友重機械工業製の小型BNCT用加速器（サイクロン）を導入する。

**地下1階・地上3
国を挙げて**

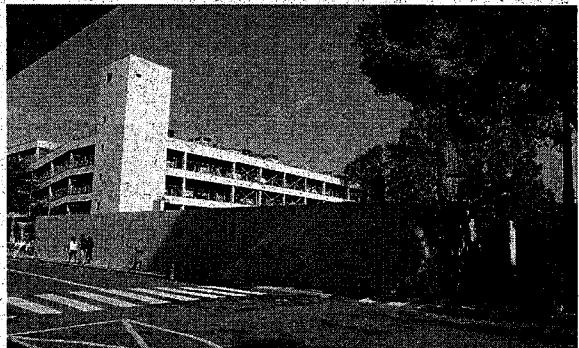
階・延べ床面積401 大阪医科大学を運営
7平方㍍の同施設は1 する学校法人大阪医科

大阪府高槻市にある
大阪医科大学。同大学
のキャンパス内に「関
電子放射断層撮影装置
（P.E.T.）の検査室を
新拠点を開設

隣に治療室、2階に陽
電子放射断層撮影装置
長は、「国を挙げてが
ん治療に取り組んでい
る。BNCTはこれまで
で治療が困難だつたが
んに適応できる可能性

研究ネットワークの“土台”

を見込んでい 〇例を超える治療実績 関わる人材育成にも寄
を積み上げてきた。さ 与できる。植木理事長
ンターは大阪医 らに、がん細胞に集積 は「がん治療に特化し
学が「共同利 するボウ素薬剤の研究 た素晴らしい人材を世
政」として運用 や治療効果を事前に判 界に送り出す」と熱意
や大学原子炉実 定できるPETの研究 を語る。



大阪医科大学 驗所（大阪府熊取町）なども関西地域で進
のキャンパス や大阪大学医学部（大
内で建設が進 阪府吹田市）、大阪府 同センターの設立に
る「関西3」 立大学3校、研究之 手うの専門家が集
の「関西3」 立大学3校、研究之 手うの専門家が集

む関西ENCT研究会が運営した専門会議場で、運営委員会にも取り組んでいた。この会議場は、大阪府立大学付属病院の隣に位置する。

〔例程〕 とと連携 研究会、ト 参画していく 同じ
ワークの「上台」とい ソンターを通じて密接な
う立置付サザンラウ。集団を囲うてボーッ

講演會を組成した。2011年3月23日、日本が引き継ぐ位置付けである。NCTの推進・発展を図ることで、直ぐ里手

8年6月に施設を開設し、関西地域はもともと長く考えだ。図りたい。(植木理事)

19年8月に治 BNCCTの研究が盛ん 療を始める予 で、要素技術の研究拠 人材育成に寄与

定。年間40点が集積している。米現在、BNCTは悪性脳腫瘍と頭頸部がん

まつたBNCTの研究を対象にした治験が進み、60年代になり日本へと進んでいる。新施設の整備

に引き継がれ、京都大備が医師や看護師、放學原子炉実験所で50射線技師などの治療に

を見込んでい 0例を超える治療実績 関わる人材育成にも寄
を積み上げてきた。さ 与できる。植木理事長

ンターは大阪医
らに、がん細胞に集積
は「がん治療に特化し
学が「共同利するホウ素薬剤の研究
た素晴らしい人材を世

改」として運用や治療効果を事前に判断する「界に送り出す」と熱意ある大学原子炉実験ができるPETの研究を語る。